別紙様式第１(第７条第２項関係)

　年　月　日

国立大学法人長岡技術科学大学長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者：

バイアウト制度利用申請書

　国立大学法人長岡技術科学大学におけるバイアウト制度の実施に関する規程第7条の規定に基づき、下記のとおりバイアウト制度の利用を申請します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １　事業名等 | 事業名：  研究種目：  題目：  申請者区分：研究代表者／研究分担者  資金配分機関：  プロジェクトコード又は採択予定日※１： | | |
| ２　研究期間 | 年　月　日　～　年　月　日 | | |
| ３　バイアウト制度による支出上限額等※２※３ | 支出上限額　円  直接経費　円 | | |
| ４　バイアウト制度を利用する業務 | | | |
| 具体的な業務内容 | 実施年月 | 経費の積算内訳 | 所要見込額(円)※４ |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  | 合計 | |  |

|  |
| --- |
| 系長のサイン※５ |

※１　採択済みの課題はプロジェクトコードを記載し、応募中の課題は採択予定日を記載すること。

※２　支出上限額には、事業において、バイアウト制度の利用による年間支出上限額等が設定されている場合は、その金額等を記載し、上限額が設定されていない場合は、バイアウト制度の利用を計画している年度の直接経費の20％の額を記載すること。

※３　直接経費には、バイアウト制度の利用を計画している年度における直接経費を記載すること。

※４　事業によっては消費税相当額が必要となる場合があるため留意すること。

※５　課程主任、専攻主任その他系長が必要と認める者と相談の上、系長から承諾を得ること。